

令和5年度第1回鹿児島県再犯防止推進会議の開催結果について

1 開催日時

令和5年9月5日（火曜日） 午後2時から午後3時30分まで

2 開催場所

県青少年会館1階大ホール

3 出席委員

宇都宮敦浩委員、西選子委員、秋野能廣委員、大山志保委員、中谷有貴委員、御牧忍委員、長野瑛や子委員、松下裕子委員、坂元葉子委員、古市幹朗委員、豊留満代委員、長久保剛委員、三浦一広委員、南靖子委員、諸留 美早季氏（木村裕介委員の代理）、迫みどり氏（徳元秀明委員の代理）、鳩宿文男氏（深野木信委員の代理）

4 公開・非公開の別

公開

5 傍聴者数

なし

6 議事

- (1) 「鹿児島県再犯防止推進計画」の概要及び評価について
- (2) 「第二次鹿児島県再犯防止推進計画」骨子（案）について
- (3) その他

7 主な内容

(1) 「鹿児島県再犯防止推進計画」の概要及び評価について

【事務局（青少年男女共同参画課長説明）】

- ・鹿児島県再犯防止推進計画の概要について説明
- ・鹿児島県再犯防止推進計画の評価について説明

【質疑応答】なし

(2) 「第二次鹿児島県再犯防止推進計画」骨子（案）について

【事務局（青少年男女共同参画課長説明）】

- ・第二次再犯防止推進計画（国）の概要について説明
- ・第二次鹿児島県再犯防止推進計画の骨子（案）について説明

【質疑応答】

- ・長野委員（鹿児島県更正保護女性連盟）

早くに市町村再犯防止推進計画が策定されたことも知っているが、中身がざっとしたものにもなっている気がするため、県がしっかりチェックして、指導も必要ではないかと思っている。

- ・宇都宮会長（鹿児島大学大学院臨床心理学研究科）
次年度は、こういう大きな会議にも市町村が参加するようなことも想定されているか。
- ・事務局（青少年男女共同参画課）
この第二次推進計画で、市町村との連携強化を示しており、今後、この推進会議の中に市長会や町村会を含めて、委員を加えていくという形で検討したいと思っている。
- ・中谷委員（鹿児島刑務所）
刑務所では色々な指導を行っているが、消極的な者もいる。再犯防止推進計画で取り組まれている「主体性を重んじる」という点について、働きかけを継続していきたい。
農福連携については、事業所への訪問や受け入れ事業所との連携等を引き続き図っていくが、現実のところとしては難しさを感じている。
また、高齢受刑者が多く、出所後の仕事として土木建設の業種は難しいのではないかと考えており、業種については幅広くあれば我々も助かると思っている。
- ・坂元委員（鹿児島県協力雇用主会）
対象者を「温かい目で見ると」点が、雇い主にも不足しているのではないかと思う。
以前、農業に就職させた対象者が、対象地区が休閑期の際に、頼まれて北海道の農場に行ったが、行き帰りの旅費などを給料から差し引いたら帰ってくるのがやっとだったという話を聞いた。そのようなところを、県とか国とか、色々な面で補助できるような政策ができれば良いと思っている。
- ・松下委員（NPO法人鹿児島県就労支援事業者機構）
雇用先として介護事業所の開拓を進めているところであるが、従業員の理解を得ることが難しいというような問題がある。
また、協力雇用主の意味をあまり理解されていない協力雇用主もあり、保護観察所と連携し、特に、入会して間もない方々への研修を実施していくことを計画している。
- ・豊留委員（鹿児島県地域生活定着支援センター）
就労の確保や住居の確保のための支援の促進という課題があったが、そこにつなぐ人や寄り添って伴走する人の育成、理解者を増やすということが非常に大事なのではないかと感じている。
- ・秋野委員（鹿児島保護観察所）
保護観察所では薬物事犯者に向けてのプログラムを実施している。覚醒剤を主にして作られたが、最近は若年者層の大麻の使用が多くなったため、大麻の視点を入れたプログラムを開発中である。
- ・長久保委員（鹿児島ダルク）
主催者の入院により一時休止しているが、大麻に特化したグループセラピーを行っていた。また、横浜でダルクをされていた方が、マルクという大麻に特化した入所施設を今年オープンしているため、鹿児島市内、鹿児島県内で大麻の依存で施設を探している方がいれば、ご紹介することもできる。
- ・三浦委員（NPO法人奄美青少年支援センター「ゆずり葉の郷」）
子供たちの自尊心を高めることで、彼らが本当に心を入れ替えて、社会貢献する喜び、

人に認めてもらえる、大切にしてもらえるとこの喜びが心の中に生じたときに、本当に変わってくれる。心の繋がり、心の居場所づくりをしていければ、本当に変わってくれる。

(3) その他

【事務局（青少年男女共同参画課長説明）】

- ・令和5年度鹿児島県再犯防止推進計画改訂に係るスケジュール（案）について説明

【質疑応答】

- ・長野委員（鹿児島県更正保護女性連盟）

保護司会、更生保護女性会、BBSが一緒になって3者連携と言われている。

私は3者、4者、5者、協力雇用主会、就労支援、あと市町村まで巻き込んで、これが本当に再犯防止の一番到達するところじゃないかと思っているが、なかなか予算化もできない。まずは実践に対して予算が必要だと思う。

- ・事務局（青少年男女共同参画課）

引き続き、こういった取組がしっかり行われていくよう、我々も予算の確保に努めて参りたい。